

第2次千葉市文化芸術振興計画 1次評価シート

基本施策名	基本施策1.文化芸術に親しむ市民の裾野を「広げる」			
	(1)多様な文化芸術イベントの開催			
事業名	千葉市美浜文化ホール令和3年度こども支援事業 絵本朗読コンサート2021「あらしのよるに」			
実施主体	指定管理者	(名称)ちばアートウインド運営企業体		
市との関わり	主催		指定管理者	
市担当課	文化振興課		(連絡先)	(内)

事業概要	開始年度	令和3年度			
	事業費	(予算) 市：1,623千円 その他：360千円		(決算) 市：1,723千円 その他：247千円	
	内 容	千葉市芸術文化新人賞の山岸努さん(ヴァイオリン)、大塚百合菜さん(ヴァイオリン)、高橋梓さん(ヴィオラ)を中心に、ピアノ五重奏によるコンサート、更に千葉市出身の声優でナレーター村山香月さんを朗読に迎え、映画や舞台作品にもなった名作絵本「あらしのよるに」にオリジナル楽曲をつけた絵本朗読コンサートを開催。音楽、朗読、プロジェクターでの絵の投影による絵本コンサートを実施			
	目 的	基本施策1(1) 文化芸術に触れる機会格差の縮小、関連機関との連携。千葉市芸術文化新人賞のフォローアップ。親子間のコミュニケーション創出。			
	目 標	(数値) 300名→新型コロナ対策により188名		(昨年度) 166名	
	ねらい	(対象) 近隣の乳幼児～小学生、及びその親(保護者)。			
		(求める効果) ・未来を担う子どもたちに良質な芸術鑑賞の機会創出 ・親子間のコミュニケーション創出 ・文化芸術に触れる機会格差の縮小、関連機関との連携 ・千葉市芸術文化新人賞のフォローアップ			
		(アプローチ方法) 千葉市教育委員会の後援を得、美浜区・花見川区を中心に小学校をはじめ、保育園・幼稚園などにチラシ配布を依頼し、対象となる幼児・児童への広報活動を積極的に行った。また周辺住民に対しても、自治会回覧板での公演の周知を行った。 内容の工夫は、公演前半は演奏に加え、楽器紹介や弦楽四重奏の各楽器の役割を分かりやすく説明するため、各楽器を家族に例えて説明する内容を盛り込むなど「こども支援事業」に即した、お子様にも分かりやすい内容とした。 夜公演は小学生以上を対象とし、公演前半の内容を変え「ピアノ生誕100周年」ピアノの名曲の数々を演奏する内容とした。			
実績	開催日程：10月21日(木) 会場：千葉市美浜文化ホール 音楽ホール 実施内容：①親子コンサート15:00開演 ②大人コンサート18:00開演 ※詳細は別紙チラシ参照 観覧数：①88名 ②79名 ※公演時は利用人数の制限はなかったが、お客様のお声を踏まえグループ単位で1席空けての販売に切替えた。(各回94席想定＝188席に変更)				
情報発信	☐ 市政だより ☒ HP ☒ ポスター・チラシ ☒ フェイスブック・ツイッター ☒ その他(千葉市みなさんの掲示板、地域新聞広告、コミュニティサイト等への掲載)				

【評価指標】 4：妥当、3：ほぼ妥当、2：工夫により改善、1：見直し

1 基本 施策 との 適合	(1) 妥 当 性	☐ 1 ☐ 2 ☐ 3 ☒ 4	(評価の理由) 昼・夕2公演を実施したことにより、親子連れを中心に幅広い年代に来場いただいた。 また「絵本朗読コンサート」という、クラシックのコアなファン層のみならず、初めてクラシックを聴く子ども達にもホールやクラシックを身近に感じていただけるよう企画した。 これにより事業のねらい、および基本施策1(1)「多様な文化芸術イベントの開催」という観点では十分に目標を達成できたと考えている。
	(2) 達 成 度	☐ 1 ☐ 2 ☒ 3 ☐ 4	(評価の理由) 内容については自信をもって提供できたと考えている。 公演には「あらしのよるに」原作者きむらゆういち様にもご来場いただき、終演後に登壇いただき、好評をいただいた。ご来場いただいた市民の皆様にも絵本の続き(本作はシリーズ化されている)をぜひコンサートで観たいとお声を多数いただいた。
	(3) 波 及	☒	(評価の内容) 基本施策5「活かす」(2)魅力ある人材の活用(千葉市出身アーティストの活用) ※千葉市芸術文化新人賞受賞者3名、千葉市在住の声優1名出演 基本施策4「つなぐ」(2)多様な協働・連携の促進(教育委員会の後援) 基本施策3「支える」(1)文化芸術活動の場の充実(新人賞フォローアップ) ※波及効果が大きかったと考える順で記載
(評価に関連する数値等) 券売数 昼公演／来場者88名中こども47名 夕公演 来場者79名中こども14名来場			
(評価に関連する数値等) 動員目標188名に対し167名来場 集客率88.8% コメントについては別紙アンケート集計参照			
(評価に関連する数値等) 別紙アンケート集計「イベントを何で知ったか？」参照			
2 戦 略 的 な 視 点 ・ 基 本 姿 勢 と の 適 合	(1) 市 民 主 体	☐ 1 ☐ 2 ☐ 3 ☒ 4	(評価の理由) 出演者7名中4名が千葉市出身。来場者の90%以上が千葉市民であった。前述のアプローチ方法で記したように、市教育委員会の後援を得、近隣教育機関、回覧板等で重点的なプロモーションを行った結果と考える。 来場されたお客様は、事業の目的である「文化芸術に触れる機会格差の縮小」「親子間のコミュニケーション創出」の効果もあり、幅広い層の来場がみられた。
	(2) こ ど も ・ 若 者	☐ 1 ☐ 2 ☐ 3 ☒ 4	(評価の理由) 事業の対象が子どもを持つファミリー層となっており、実際の来場者も親子での参加が多数であった。 内容は演奏のほか、お子様向けに楽器紹介コーナーや弦楽四重奏の各楽器の役割説明、ピアノの魅力の紹介なども盛り込みクラシック音楽の魅力をお子様にも分かりやすく、親しみやすい雰囲気、内容とした。昼の親子コンサートでは0歳児から参加できる公演とした。 夜公演では小学生(特に高学年)以上の児童や大人も楽しめる用、各公演での演奏曲目も工夫した。
	(3) 領 域 の 広 がり	☐ 1 ☐ 2 ☒ 3 ☐ 4	(評価の理由) 本事業はメインターゲットを「子ども＝乳児～児童と、その親」と定めていることから、子供たちの成長とともに必然的に来場者の入れ替わりが行われ、毎年新たな顧客が多数来場されるコンテンツである。 また近年は、事業を継続的に実施していることから複数年にわたり本事業を楽しみに来場される顧客も確実に増えつつある。
(評価に関連する数値等) 別紙アンケート「年齢」参照			
(評価に関連する数値等) 別紙アンケート「イベントの総合的な満足度」参照			

3 事業のねらい	(1) 妥当性	☐ 1 ☐ 2 ☐ 3 ☒ 4	(評価の理由) 『基本施策1.文化芸術に親しむ市民の裾野を「広げる」(1)多様な文化芸術イベントの開催』 本事業は当ホールオリジナル企画であり立案時の作品選出から出演者と共に行っており、他施設にはない事業である。初めてクラシック音楽に触れるお子様など幼児期からクラシックコンサートを楽しんでもらおうというスタンスをベースに置き、「文化芸術に触れる機会格差の縮小」を狙った。また「千葉市芸術文化新人賞のフォローアップ」、「親子間のコミュニケーション創出」「良質な芸術鑑賞の機会創出」等、ねらいは妥当であると考え。
	(2) アプローチ	☐ 1 ☐ 2 ☒ 3 ☐ 4	(評価の理由) <集客について> 概要の「アプローチ」の通り、周知方法は教育委員会の後援を取り、ターゲットに確実に情報を届けるための施策は行えたと感じている。 <顧客対象について> 対象については昼公演では50%を超えるお子様の来場からわかる通り、事業で狙っている対象に確実にアプローチできたと考えられる。
			(評価に関連する数値等) 動員目標188名に対し167名来場 集客率88.8% 昼公演／来場者88名中こども47名 タ公演 来場者79名中こども14名来場
4 市民との関わり	(1) 満足度	☐ 1 ☐ 2 ☐ 3 ☒ 4	(評価の理由) 公演には「あらしのよるに」原作者きむらゆういち様にもご来場いただき、好評をいただいた。ご来場いただいた市民の皆様にも絵本の続き(本作はシリーズ化されている)をぜひコンサートで観たいとお声を多数いただいた。絵本朗読コンサートシリーズをスタートして今年で10年となるが、幼児のころから全公演、観覧されている親子もいっしょに、高く評価いただいていると考える。
	(2) 周知度	☐ 1 ☐ 2 ☒ 3 ☐ 4	(評価の理由) 広報についてはターゲットを絞り、教育機関や保育施設に集中してチラシ配布を行った。その他、市内掲示板、回覧板を活用するとともに、ホール公式ツイッターやフェイスブック等netによる広報も行った。
			(評価に関連する数値等) 動員目標188名に対し167名来場 集客率88.8%
5 効果	(1) 活動の活性化	☐ 1 ☐ 2 ☒ 3 ☐ 4	(評価の理由) アンケート集計結果にもある通り、事業内容自体は好評いただいております、「基本施策1.文化芸術に親しむ市民の裾野を「広げる」といった狙いについては的確な内容であったと考えられる。また千葉市芸術文化新人賞の受賞者を積極的に活用し、来場された市民の皆様も親しみを感じながら観覧いただいたと感じている。
	(2) 費用対効果	☐ 1 ☐ 2 ☒ 3 ☐ 4	(評価の理由) 目標来場者に及ばなかったものの、定めた基本施策に沿った内容で事業を実行し、かつ経費削減にも務め、予算内に収めることができた。 今回、8回目の開催となるが、全公演ご来場いただいておりますお客様はじめ、この成長に合わせて来場される親子連れ、シニア世代まで幅広くご来場いただき、事業内容については高い評価をいただいている。以上のことを踏まえ、妥当であると考え。
	(3) その他の効果		(評価の内容)※上記(1)(2)以外の効果があった場合のみ記載(地域活性化等なんでも可) (評価に関連する数値等)